

鳥取山草同好会 納涼山野草展

去る7月4日（木）～6日（土）の3日間、パレットとっとり市民交流ホールで夏恒例の「納涼山野草展」を開催しました。

梅雨の暑さ、鬱陶しさをひととき忘れて涼んで欲しいと、鳥取山草同好会メンバーが「涼」をテーマに仕立てた山野草作品が約100点出展されました。

野辺や川辺に咲く野草は、ともしれば見過ごされがちですが、出展された作品では、緑の葉に白く斑の入った斑入り（フイリ）の品種で涼しさを演出したり、水を張った水盤を使って水辺に生える野草の様子を再現したりと、様々な工夫が凝らされ、来場者の目を楽かせていました。

また、この展示会は例年、平日のみ（水曜～金曜）に開催していましたが、さらに幅広い年齢層の方々にも興味を持ってもらおうと、今年は日程をずらして木曜～土曜の開催に変更したところ、20代や30代など若い年齢層の方の来場もあり、最終日の土曜日に開催した苔玉講習会は、ご家族連れやお孫さん連れなど、これまでにない参加者の方が増え、山野草の魅力を楽しんでもらうことが出来ました。

